



3年連続

## 広報きたもとが埼玉県1位に

「障がいへの眼差し」がテーマの特集を掲載した「広報きたもと」令和5年10月号が、広報コンクール埼玉県審査で広報紙(市)部門の「特選」に選ばれ、全国へ進みます



自治体広報の甲子園・全国広報コンクールの埼玉県審査結果が発表され、「広報きたもと令和5年10月号」が広報紙(市)部門で特選(27点中1位)に選ばれました。埼玉県推薦作品として、全国広報コンクールへ進出します。

「広報きたもと」が埼玉県審査の特選に選出されたのは、「財政状況伝えるマン」特集を掲載した平成28年11月号、北本の農産物の特集を掲載した令和3年7月号(一枚写真部門)、家庭や職場・学校に次ぐ第3の居場所の特集を掲載した令和4年9月号(全国広報コンクールで内閣総理大臣賞受賞)に続き4度目です。



紙面はこちらからご覧になれます▲

### 作品概要



「障がいへの眼差し」をテーマに、特集「このまちに暮らす、わたしたち《CHALLENGED》」を作成。障がい児の母親たちの座談会や、福祉事業所、障がい者グループホーム、放課後等デイサービス取材。さらに、福祉とまちづくり、それぞれの観点から障がいのある人たちと関わる地域のキーパーソンとの対談等、全12ページにわたり掲載。発行後は、紙面を読んだ人が障がい児の母親たちのグループに参加したり、グループホームへ入居や就職希望の連絡が入ったり、紙面に登場した人が新聞社の取材を受ける等、さまざまな反響がありました。

### 審査員講評(抜粋)

- 市としては切り込みにくいテーマにアタックし、非常にメッセージ性のある内容。
- 読み応えのある特集だった。障害というものに向き合い、現場に行き、それぞれの人々が抱く思いを丁寧にすくい、地域社会で共に手を携えていくために市民が忘れてはならないことを浮かび上がらせていたと思う。写真も秀逸でレイアウトも良質。読んでいて温かい気持ちになった。
- 特集「このまちに暮らす、CHALLENGED わたしたち」では、関係者一人一人の声を丁寧に取り上げており、読み応えのある内容になっている。また、全体として、見やすいレイアウトになっている。
- 読むだけで障害への多様な向き合い方のリアルに触れることができる素晴らしい内容だった。

## 広報コンクールとは

全国広報コンクールは、地方自治体の広報活動の向上に寄与することを目的に、各種広報作品についてコンクールを行い、優秀団体を表彰するものです。日本広報協会の主催により、1964(昭和 39)年から実施しています。

このコンクールは、都道府県別に「広報紙」「写真(一枚・組み)」「映像」「ウェブサイト」「広報企画」の部門の代表作品を決定し、全国で競います。いわば自治体広報紙の甲子園のようなものです。なお、全国広報コンクールの審査結果は、公益社団法人日本広報協会から5月初旬に発表される予定です。

## 令和5年全国広報コンクール埼玉県審査結果(※)

広報紙(市)部門(応募総数 27 点)

特選 北本市 広報きたもと 令和5年10月号

1席 草加市 広報そうか 令和5年8月20日号

2席 狭山市 広報さやま 令和5年11月号

※情報解禁は2月1日(木)11:00~です



## 直近の受賞歴

広報きたもと令和4年9月号

- ・令和5年全国広報コンクール埼玉県審査 広報紙部門特選
- ・令和5年全国広報コンクール 内閣総理大臣賞受賞、広報紙部門特選

広報企画「まちへの参加を創る・発信する 北本団地商店街活性化プロジェクト」

- ・令和5年全国広報コンクール 広報企画部門入選

広報企画『北本市の暮らしの魅力が自動で拡散！「屋外の仮設マーケット」がシティプロモーションの鍵に！「マーケットの学校」と「&green market」』

- ・令和4年全国広報コンクール 内閣総理大臣賞受賞、広報企画部門特選

## 担当者コメント



今回は、障がいのある子をもつお母さんたちから、飲食業から福祉の世界へ飛び込んだ方、自身も睡眠障害に悩んだ経験からグループホームを北本に作ってくださった方など、多くの皆様に取材協力いただきました。「障がい」というテーマから、顔や名前を出して取材に応じるには、きっと大きな勇気や覚悟が必要だったはず。だからこそ、本特集は障がいについて、“社会のどこかで起こっている誰かの話”ではなく、“同じまちに住んでいるこの人の話”としてお届けし、市民の皆さんが障がいについて自ら考え語るきっかけとなったのではないかと思います。コンクール応募の際も、取材した皆さんにご相談し、それぞれの想いを込めて応募用紙を作成しました。改めて取材協力いただいた皆様に心より御礼申し上げます。これを機に、より多くの方にこの紙面を読んでいただき、取材した皆さんの想いをお届けできたらと思います。